



音楽会への道のり

校長 高山 直也

枯れ葉が寒風に舞い、雪の便りが聞こえる季節となりました。この学校だよりが配布される頃、いよいよ6年ぶりの音楽会が開催される運びとなりました。発表は、各学年10分程度の一瞬の芸術ですが、ここに至る道のりは、個々と全員が織りなす努力と成長のドラマでした。



運動会の練習が行われている頃から、音楽会に向けての必死の取り組みは始まっていました。100人からの学年人数ですから、楽器は必然オーディションで決まっていきます。学校の休み時間や家で一生懸命練習し、当日緊張で木琴のバチを持つ手が震える体験をした子もいました。努力叶わず、希望の楽器になれない子も少なくありません。思わず涙がこぼれることもありました。こういった、何かを成し遂げようとする時に体験する全ての事は、成長していく上でとても大切なことだと思います。

一瞬の本番に向かう長い道のりの中で、子供たちは多くの喜怒哀楽を体験します。嬉しさも素敵な体験ですが、悔しさや焦りや緊張は、人間を成長させるとも貴重な体験です。乗り越えようとする意思と力が育ちます。鍵盤ハーモニカの指が動かない、リコーダーの音が美しく出ない、大きな声で歌えない、アルトの音程が取れない……。楽器のオーディションだけでなく、乗り越えようとする壁はたくさんありました。家で練習する我が子の、少しずつ上達していく様子や、自信を失いそうになる様子、さらには学校での練習の話題を語る様子の全てを通して、成長のステップを感じていただいたのではないのでしょうか。

そして最大の難関、「1人1人の努力と個性を、全員で一つの美しい芸術にまとめ上げる」が立ちはだかります。この3週間はこの難関に対し、体育館で学年の子供たち、音楽専科、担任が全員で取り組んできました。初めの頃は、皆自分のことで精一杯、見事なまでの不一致バラバラ感(笑)でした。周りの声や音を聞く、友達に合わせる、ピッチを守る、指揮者を見る……段々と一つにまとまり、音が溶け合う感じ、ハーモニーが響き合う瞬間に、心地よさを体感します。この頃から「心を合わせる、心一つにする」という、技術ではないところにも気を配り、大きな一体感の感動も味わいます。コロナ禍では味わえなかった、全員で奏でる音、声、そのボリューム、100人が一つになることで起こるゾクツとくる感覚……。個々と全員が乗り越えてきた、数々の努力と成長を思っていたきながら、その一瞬の芸術に万雷の拍手をいただければと思います。 お待ちしております！



タブレットを活用した教育活動の充実について

ICT担当 新村 哲

保護者の皆さんは、GIGA スクール構想という言葉聞いたことがあると思います。GIGAとは、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字をとったもので、子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力を確実に育成できる教育環境の実現をめざすことや、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指した施策です。

白金小学校では、デジタル教材を活用して一人一人に応じて学習を進める個別学習やリアルタイムで考えを共有しながら学び合う協働学習などを行っています。今年度はGoogle アカウントが全員に配布され、スプレッドシートやジャムボードを使いながら学習を進めることができるようになりました。また、学校では、タブレット等を安全に使うために、情報モラルについての指導を行っています。とても便利なアイテムですが、使い方によっては大きな危険を伴います。この機会に、ご家庭でもPCやタブレット、スマートフォンなどの情報端末の扱い方、ルールなどについてお話いただき、子供たちが安全に活用できるようにしていただければと思います。

運動会・学校評価・学校公開アンケートへのご協力いただきありがとうございました。